



みんなが主役! みんなでつくる 人にやさしいまち横手

横手市

社協だより

59号
2018.1.1

横手市社会福祉協議会



地域を応援する証 ~オレンジリング~

12月10日(日)、雄物川小学校5年生児童と保護者が「ふれあいPTA」の時間に「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

本会職員のキャラバン・メイトによる講話とPTA役員などによる熱のこもったわかりやすい寸劇により、認知症の方への理解を深め、関わり方などを学びました。サポーターの証“オレンジリング”を身につけた児童からは「認知症の方に優しく対応したい」「地域の人にも優しく接したい」などの声が聞かれました。

たくさんのサポーターの誕生で支えあいの“輪”が広がることでしょう。

支えあいの地域づくりを考える

話し合いの場 協議体の取り組み

介護保険法の改正に伴い、全国各地において「生活支援体制整備事業」が行われています。この事業は、高齢者の生活支援や介護予防の推進を目的に公的なサービスだけでなく、地域のつながりや交流、活動など「支えあい」の充実を図るものです。そのため、住民や関係機関などの話し合いの場となる「協議体」を設置することとなり、横手市では市を圏域(第1層)、また旧市町村を圏域(第2層)とした協議体を設置しました。(協議体の役割などは6ページ上欄)



協議体の

主な取り組み状況

① 地域の情報把握

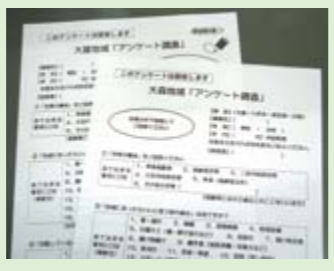
構成員による情報交換のほか、地域の座談会やイベントへの参加、アンケート調査などで、地域のつながりや活動、課題などの情報把握を行っています。



山内の協議体では、構成員が各地区の小ネットワーク会議に参加し、地域の課題や活動などを把握しました。

② 地域への働きかけと情報発信

①で把握した情報を基に、課題への対応策の検討と地域への働きかけ、良い事例や活用できる事業などの情報を発信します。



大森と大雄の協議体では、全世帯を対象とした活動や困りごとなどのアンケート調査を実施しました。

こんな活動につながりました

アンケート結果から「居場所づくり」の重要性を認識し地域の状況を確認。すでに集いの場があっても、予算面などで苦労されているところもあったため、助成事業を紹介し活動の充実につながった。

構成員を中心に地域の支えあいについて考える地区も出てきた。この機会が集いの場づくりを考えていた人たちの後押しとなり、町内会と連携してサロンが誕生したところもある。



大森

川西サロン



平鹿

なかまち語ろう会



十文字

支えあいの地域づくりには、子どもの頃からの意識啓発が大切と考え、PTAの協力も得て内容を検討し、小学校へ意識啓発授業を提案。子どもたちが地域の現状や将来を考える機会となった。



増田

地域の困りごとを整理する中で「情報収集・発信と居場所づくり」が必要と考え、市役所増田庁舎1階に情報掲示用マップを設置。情報と人が集まる場づくりの第一歩となった。

協議体の名称と構成員

地域	名称	構成員数
横手市	第1層協議体	14名
横手	よこて支えあいネット	15名
増田	支えあいますだねっと	12名
平鹿	ひらか支え愛ねっと	23名
雄物川	おもの川支えあいネット	18名
大森	おおもり支えあい協議体	14名
十文字	まめ☆だすか ささえあいネット十文字	17名
山内	さんない生活支えあいたい	15名
大雄	大雄支えあいネット	18名

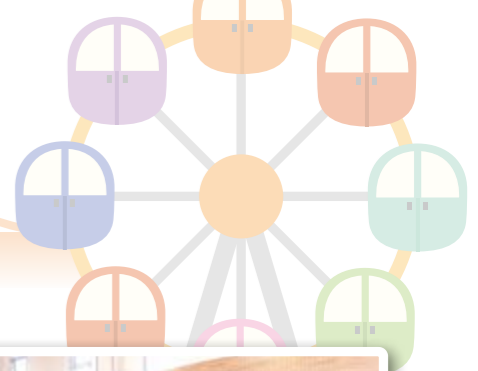
(平成29年12月1日現在)

構成員の所属や役職などに決まりはなく地域によって異なりますが、現在、次の方々と団体・機関などで構成されています。
町内会・自治会長、区長、民生委員、福祉協力員、住職、ケアマネジャー、保健師、いきいきサロン世話人、医療関係者、市職員、社協職員、農事組合法人、地域づくり協議会、地区会議、老人クラブ、身障協会、婦人会、NPO、子育てサークル、公民館、福祉施設・事業所、商工会、共助組織、JA、ボランティア団体、シルバー人材センター、地域活性化グループ、教育委員会、PTAなど



毎月または隔月で協議体(話し合い)を開催しています。

みんなが支えあい、いきいきと暮らせる地域づくりを推進します



平鹿

林崎
いきいきサロン

平成二十二年四月にスタートし、様々な方の講話やゲーム、軽体操などで心と体の健康維持に努めてきました。男性がテーブルを出し、女性はお茶の準備をするなど、連携しながら無理なく開催できるように心がけています。おしゃべりも笑顔も絶えず、みんな年齢を重ねることに元気になっています。



五日町
いきいきサロン

大森

地域の方が健康で生活できるように、体操や健康講話などの内容を多く取り入れて開催しています。今年度は初めて小学生と交流し楽しい時間を過ごしました。これからも介護予防につながる内容を充実させながら、世代間交流を増やし、みんなが楽しく参加できるサロンを開催していきます。



山内

駅前区
いきいきサロン

誰でも気軽に楽しめる場所づくりを目的に今年七月に発足しました。初回の緊張した顔はすっかり笑顔に変わり、料理や体操、健康の話など身近な内容で大変喜ばれています。笑顔の輪が一人でも多く人を引き寄せられるように、楽しく遊びおしゃべりできるサロンを継続していきます。



菊まつり見学週間

色とりどりの菊花に笑みがこぼれる
10.24(火)~11.4(土)/雄物川民家苑「木戸五郎兵衛村」
雄水苑のご利用者が、おものがわ笑顔の菊まつりを見学しました。会場に並べられた作品を見ながら「上手だなあ」と目を細めながら、すばらしい出来栄に感動されていました。



地域で支えあうまちづくり研修会 in 十文字

日々のつながりが地域の“宝物”
…………… 10.28(土)/十文字文化センター
協議体主催による研修会が開催され、隣近所のあいさつや地域行事など、日々のつながりや交流が支えあいの基盤であり、地域の“宝物”であることなどを改めて理解しました。



横手市身体障害者福祉大会

共生社会の実現に向けて決意を新たに
…………… 11.15(水)/さかえ館
横手市身体障害者福祉協会主催の大会が開催され、障がい克服し地域で活躍されている方々の表彰や実践発表などを通して、自立と共生の社会づくりへの決意を新たにしました。



災害ボランティア活動実践研修会

災害時に求められる役割を学ぶ
…………… 11.19(日)/横手市役所条里南庁舎
近年相次いでいる災害に備え、市民や高校生、福祉事業所などに参加いただき、市内で起こりうる災害や災害時に求められる地域住民の役割などについて理解を深めていただきました。



輪気愛相スポーツ交流会

スポーツで交流 和気あいあい
…………… 11.3(金・祝)/さかえ館
障がいのある方やボランティア、学生など約140名が参加し、スポーツやゲームなどで交流を行いました。競技ではお互いに助けあい、親睦を深めながら秋の一日を楽しみました。



秋田県社会福祉大会

県内の福祉関係者が一堂に集う
…………… 11.9(土)/秋田ふるさと村ドーム劇場
県内の福祉関係者約900名が横手市に集い、県社会福祉大会が開催されました。大会では式典のほか、地域課題の解決に向けた講演などが行われました。

善意

ありがとうございました

平成29年9月16日～11月30日受付分

【本部】

- NPO虹の会様
- タプロス(株)横手支店様
- (株)テラセキ様
- (株)ふるさと燃料サービス様
- 平鹿総合病院様
- 衛生看護学院様
- 横手建設(株)様

【横手福祉センター受付】

- 田中清和様(八幡)
- 高橋浩様(大屋新町)
- 鈴木由紀子様(平鹿・浅舞)
- 安藤詔子様(上真山)
- 赤川裕子様(根小屋)
- 佐藤良子様(南町)
- 堀江茂寿様(間明田)
- 横手南中学校生徒会様
- 横手高校定時制PTA様
- 横手北中学校吹奏楽部様
- 椿寿会様
- 大森民謡同好会様
- 金沢保育園様
- 横手歌謡会様
- 横手市勤労者互助会女性部様
- 艶歌嘉舞義会様
- 金沢民謡同好会様
- 日本詩吟学院
- 秋田吟詠会 横手教場様
- よこて女性コーラス様

【増田福祉センター受付】

- 石田正様(上町)

【平鹿福祉センター受付】

- 武内竹蔵様(林崎)

【雄物川福祉センター受付】

- 原一雅様(今宿上第二)
- アンダンテの会様
- とっぴんぱらりのブー様

【大森福祉センター受付】

- 塩田惇子様(横手・安田原町)

【十文字福祉センター受付】

- 十文字ライオンズクラブ様

【山内福祉センター受付】

- 岩瀬モヨ様(下駅前)
- 高橋ヤエノ様(上駅前)
- 藤原清様(南相野々)
- 昔語りつむぎの会 畑則子様

【大雄福祉センター受付】

- 戸田君男様(四ツ屋)

【平寿苑受付】

- アンダンテの会様
- NPO樽見内地域資源保全委員会様
- 樽見内保育園様

善意は寄付金や物品等をお寄せいただいた皆様、ボランティア活動にお越しいただいた皆様をご紹介します。

【雄水苑受付】

- 佐藤昭逸様(東里)
- 佐藤幸一様(船沼)
- 傾聴ボランティア「ひまわり」様
- 雄物川手話サークル様
- 雄物川保育園様
- アンダンテの会様
- 雄川大学 学生一同様
- 沼館婦人会様

【憩寿園受付】

- 熊谷秋夫様(梨木)
- スーパーモールラッキー様
- 傾聴ボランティアささやき様
- 十文字ライオンズクラブ様
- 認定こども園こひつじ様
- 新古内プラチナクラブ様
- 植田小学校児童会様



沼館婦人会様より雄水苑にティッシュを寄贈いただきました

生活支援体制 整備事業

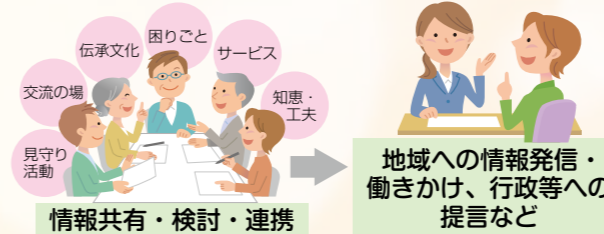
みんながいきいきと暮らせる

支えあいの地域づくり 第3回

協議体と生活支援コーディネーター

協議体

支えあいの地域づくりを目的に、住民や関係機関などの情報共有と連携を強化する場であると同時に、地域の課題や必要なことについての解決・対応策などを考えていく場です。また、生活支援コーディネーターを支えながら、情報発信や提言などを行います。

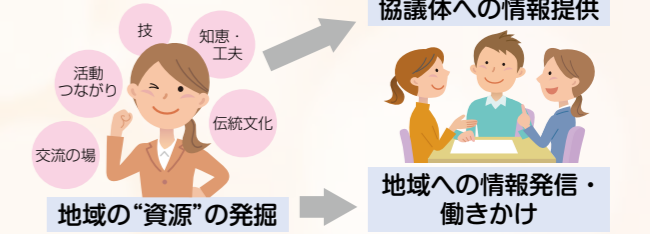


少子高齢化や人口減少によって、支援が必要な人が増える一方で、支援する人が減り、将来、今と同じようなサービスを受けられるとは限りません。

協議体や生活支援コーディネーターは、地域の支えあいの基盤となる“資源”＝『宝物』をうまく活かしながら、将来もみんなが豊かにいきいきと暮らせる地域づくりを進めていきます。

生活支援コーディネーター

地域にある様々な活動やつながり、交流、伝統文化、また知恵や工夫、技などの“資源”を発掘し、広く発信する中核的な役割を担います。また、協議体の推進役として話し合いや活性化、積極的な地域資源の情報提供なども行います。



次回は地域ごとの協議体の取り組み状況をご紹介します。



あなたの悩みを 聴かせてください

失業や人間関係、不安、ストレス等、様々なことが原因で、ひきこもりになったり社会参加が困難になってしまう場合があります。相談相手がない、どこに相談してよいかわからない、また、本人や家族だけではなかなか解決が難しい困りごとがありましてら社会福祉協議会にご相談ください。相談者と一緒に考えながら、自立に向けたお手伝いをさせていただきます。

今回は、心に不安を抱えた五十代の男性の相談事例をご紹介します。

困りごとがありましたら、最寄りの福祉センターか、くらしの相談窓口(☎32-6101)へお聴かせください。

長年県外で就労し、故郷の横手市で生活するため帰郷しましたが、なかなか希望の職種に就けず、やっと就職して人間関係や仕事内容が合わないなどの理由で短期間の離職を繰り返していました。本人は不安感が強く、以前から専門医療機関を受診していましたが、症状が改善されなかったり、不安定な収入で預金を取り崩して生活していたため、今後不安を感じ相談に訪れました。

これまで心の内を誰にも相談することが出来ず、一人で苦しんでいた思いを受け止め、気持ちの安定を優先した面談を重ねながら、今後の目標を設定しました。目標ができたこと、医療機関やハローワーク、保健師との関わりを通じて徐々に心に余裕ができて、落ち着いた気持ちで将来を考えることが出来るようになり、ゆっくりと前に進んでいます。

ふくし川柳

福祉を詠めば福来たる
テーマ 防災

- 一、防災の看板朽ちて 危機忘れ
淡路 鉄夫さん/横手
- 一、防災は常のあいさつ 役に立ち
ペンネーム 雅ちゃん/増田
- 一、じいさんも人を頼らず おし車
斉藤 良子さん/十文字
- 一、仏壇のロソク消しても 振り返り
松本 ツヨさん/山内
- 一、今年は自然のこわさ 思い知る
ペンネーム クロコさん/大雄
- 一、さいなんに 足腰鍛えて 身を守る
ペンネーム パア子さん/大雄
- 一、あわてずに 火の元確認 避難所へ
ペンネーム OYさん/大雄

たくさんのご応募ありがとうございました

次号(3月31日発行予定) テーマは… 「支えあい・助けあい」
ご近所や友人、地域での様々な“支えあい”や“助けあい”に関する川柳を募集します。

【応募方法】
作品(1人2点まで)と氏名(ペンネーム可)、連絡先をご記入の上、ハガキやFAX、メール等でご応募ください。(様式は問いません)

〒013-0072
横手市卸町5-10
横手市社会福祉協議会 「ふくし川柳」係

FAX: 36-5388
e-mail: tiiki@yokote-shakyo.jp

【締切日】
平成30年3月16日(金)

福祉教育活動推進校 大雄小学校

大雄小学校は田根森小学校と阿気小学校が統合し3年目となりますが、それぞれの地域の伝統を引継ぎ「体験や交流を通して福祉やボランティア、地域共生のあり方を考え、実感する」活動を行っています。

学習発表会やマラソンなべっこ会などの学校行事に、地域や高齢者福祉施設の皆さんを招待し活動を観ていただいたり、冬休み前には児童の祖母や地域の方々を招待して、子どもたちが企画したイベントに参加していただく「大雄っこフェスティバル」を開催し、地域との交流を深めています。また1～2年生はたいゆう緑花園の花で押し



地域との交流をとおりて福祉のこころを育てています

花の絵の作品を作り地域内の各施設へ贈呈する活動を行っているほか、高学年は保育園と高齢者福祉施設への訪問交流を続けています。

推進校として、地域の方々や高齢者福祉施設の皆さんとの交流を通して福祉やボランティアの理解を深め、様々な体験を活かし地域の一員として一人一人ができることを考え、思いやりのこころを育むことができる福祉教育活動にこれからも取り組んでいきます。

お知らせ

かいごカフェの開催

在宅介護者などの相互交流や情報交換、リフレッシュなどを目的とした集い・語りの場「かいごカフェ」を開催します。

- ◆ 期日／一月二十五日(木)、二月二十八日(水)、三月二十日(火)
- ◆ 時間／午前10時～午後3時
- ◆ 会場／横手市交流センターY²ぷらざ オープンスペース
- ◆ 内容／語らい、講話、体操など
- ◆ 参加費／無料
- ◆ その他／どなたでも参加できるので、都合のつく時間に自由にお越しください。
- ◆ 問い合わせ／本部地域福祉課 ☎36-53377

除雪ボランティアの募集

降雪期間に高齢者世帯や障がい者世帯などの除雪活動に参加いただけるボランティアを募集します。

- ◆ 募集対象／除雪作業ができる個人、団体、企業など
- ◆ 活動期間／一月から三月の降雪期間中(随時)
- ◆ 活動内容／高齢者世帯や障がい者世帯などの家屋周辺での除雪作業
- ※ 雪下ろしや危険を伴う作業は行いません。
- ◆ 活動条件／ボランティア活動保

除に加入していただきます。原則、スコップやスノーダンプを持参していただきます。

◆ 問い合わせ／本部地域福祉課 ☎36-53377 又は最寄りの福祉センターまで

除雪活動団体等への支援

地域で除雪活動を行う団体などへの支援として、ボランティア活動保険に加入する費用の一部を負担します。

- ◆ 対象／自力で除雪を行うことが困難な世帯などの除雪を行う二人以上で構成される団体(町内会、共助組織、ボランティアなど)
- ◆ 条件／申請書や名簿を提出していただきます。また活動終了後には報告書を提出していただきます。
- ※ その他詳しい内容などについてはお問い合わせください。
- ◆ 申請・問い合わせ／本部地域福祉課 ☎36-53377 又は最寄りの福祉センターまで

秋田県からのお知らせ

一月十三日(土)から二十一日(日)は「秋田県雪害事故防止週間」です。

「屋根の雪下ろしは二人以上で行う」「除雪機の調整はエンジンを切る」「流雪溝に注意する」など除排雪作業中の事故防止に努めましょう。

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法(第109条)に定められた民間団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377

横手福祉センター TEL.33-8668
増田福祉センター TEL.45-4848
平鹿福祉センター TEL.24-3283
雄物川福祉センター TEL.56-2072

大森福祉センター TEL.26-3274
十文字福祉センター TEL.42-5858
山内福祉センター TEL.53-3009
大雄福祉センター TEL.52-3311

(市外局番 0182)

特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510
横手市くらしの相談窓口 TEL.32-6101

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.36-5377 FAX.36-5388

E-mail honbu@yokote-shakyo.jp

ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>

横手市社協

検索